

特別企画
21世紀に
伸びる企業

不労所得は美德になり得るか？
あなたはお金のために働いていますか？
それともお金の働いてもらっていますか？
オレオーラ株式会社

シリーズ ⑨



後藤 寛 氏

オレオーラ株式会社
代表取締役社長

●Profile

1964年宮崎県生まれ。立命館大学産業社会学部卒。1987年オリエンティース(現オリックス)株式会社入社。大阪営業部を皮切りに国内営業部門を転々とし、四谷支店次長、熊本支店長、名古屋支店次長を経て2006年1月退社。オリックス時代の得意分野は企業の財務対策。

アメリカでは小学校で株式投資のゲームを、中学校で仮想取引を、そして高校ではグループで討論しながら実際に株式の売買を行っている。その過程で市場経済や企業経営、また投資哲学を学んでいく。このようなことを加

味すると、日本人は投資に対する偏見や知識の欠落によって、おのずとお金から逃げていつているかのようにも思える。

「投資の魅力とは？」
それは、「お金の働いてもらうこと」にはかならない。そして最大の魅力は複利で投資資金が増えていくこと。

だが、「チャンスはリスクという仮面を被ってやってくる。チャンスの仮面を被ってやってくるのは詐欺です」(同校不動産投資講師、金森重樹氏)の言葉にあるように、決

「イチロー選手のマネジメント事務所の岡田社長には、この20年間ずっと頭が上がりませんよ。オリックス株式会社入社時の半年間、付きっきりで仕事のイロハを教えてくださいました。まあ、社会人として赤ん坊だった私が、オシメを替えてもらった先輩なんです。今でも一番の相談相手です」と後藤寛社長(オレオーラ株式会社代表)は頭をかきながら笑う。

その経験から見た後藤社長の21世紀に伸びる企業とは？
「両極にあるように思われがちな、企業の命題である『利益追求』そして『社会的意義』。この2つをともに追求することは企業の論理と矛盾していません。綺麗ごとではなく、いち早くその事実に基づき実行する企業が伸びるのではないのでしょうか」
後藤社長は、オリックスを昨年1月末に退社し、オレオーラ投資スクール(オレオーラ株式会社)を設立。
同年3月には、年率44.0%の実績ノウハウを公開した著書、ベストセラー『卒サラ！

株で6カ月で年収分を稼ぐ必勝法・株はどんな局面でも利益をあげることができる』(明日香出版社)を出版した。
「投資とは？」
あなたは何をイメージするだろうか。「自己投資」「教育投資」「事業投資」「FX(為替)投資」「株式投資」「不動産投資」など様々だが、このうち金融の三大投資と言われるのが「株式・為替・不動産」である。

欧米では常識であるが、難易度の低いところから投資を始めるなら「為替」「株式」「不動産」の順番が一般的とされている。

しかし日本では、インターネット取引の定着により、比較的身近なものになったとはいえ、「投資＝怖い」「不労所得＝悪」といった固定観念が存在しているのもまた事実。あなたにも思い当たる節はあるのではないだろうか？



受講生同士の交流会も盛ん

して世間に疎くなく、社会経験も経済の知識も相応にある人が、「思考停止の状態」に陥って多大な損失を抱えてしまうのが現実だ。理由は2つある。

1. 投資に対する基本的な知識の欠如。
2. 自分の欲をコントロールする第三者的視点の欠如。

この2つの欠如により、投資判断の基準ができていないのである。

あなたが投資で成功者となり、資産を増やして、自立した生活を手に入れたとしたら、どんなことをしたいだろうか。でも、現実問題として叶うわけがないとあきらめてはいないだろうか。投資で成功者になれば、それらのことは意外と簡単に手に入るものなのだ。

後藤社長も勝てないサラリーマン投資家の一人だった。窓口の証券マンやタ刊紙の推奨銘柄を購入し、結局手元には買値の4割ほどの塩漬け銘柄が3つ残る。その後、マネー雑誌のアナリストが薦める銘柄を何も考えずに購入。結果は2カ月で8戦8敗とさらに200万円の損失。

「私にとって自分の投資スタイルを創り上げることは、壊れた自分自身を再構築していく過程でした」(後藤社長)と語るように、



同校講義風景

1000万円近く借金をし、仮説を作り出し、50億円にも及ぶ売買で検証を行った末に自身の投資法を確立するに至ったという。

投資哲学 (Investment philosophy) においても大切なこと。それは他人の情報に左右されず、自分自身で投資判断をする力(絶好の売買タイミングを見極める力、リスクをチャンスに変える力、勝率にこだわらずトータルできっちり資産を増やす力)だ。不安な点はかかりが気になってリスクを取れない人は、チャンスを見送り続ける。

「決断とは？」
「何かを決めて何かを断ち切ること」(後藤社長)

日本初の投資家育成スクール 東京校も開校、本格的に始動

空前の好景気といわれるものの、増えない給料、所得税増税、消費税率の引き上げ、年金不安と、将来への不安は増大していくばかりだ。

そんな中「リスク(不確実性)を取らなければ、それに見合うリターン(見返り)を期待できない」と気づき始めた現代社会で、日本人の希薄な投資意識に手を差し伸べるべく立ち上がったのが、オレオーラ株式会社だ。

同社は「この株は上がる!この通貨を買ったら儲かる!この不動産物件はお薦め!」といった即物的なことを教えるスクールではなく、投資の本質を理解して「自分の頭で考える」ことを目的とした日本初の本格的投資家育成スクールである。

同社は、代表の後藤寛氏がオリックスを2006年1月に退社し、翌月2月に設立と業歴こそ浅いものの、同年10月には東京校を開校。現在会員数は1万人を超え、着実にそ

の裾野を広げている。

本スクールでは、FX・為替投資講師には山根由希子氏、不動産投資講師には金森重樹氏と、個人投資家として実績のある第一人者を講師陣として迎え、各コースとも投資の基礎から実践まで学ぶことができる。

「皆さんには最短距離で投資のスタートラインに立つてもらいたい。そのためなら、私が辛酸を嘗めて構築した投資法も惜しみなく提供します」(後藤社長)

今年1月には株式会社キーポート・ソリューションズ(以下KPS)と業務提携し、KPSの運営する金融情報サイトK-ZONEから投資家育成総合メールマガジン「ケイン・トレードNEWS」の配信を開始している。初回配信数は約18万通と、投資に特化したメールマガジンとしては、日本最大規模のスタートを切った。(登録先↓K-ZONE <http://www.k-zone.co.jp>)

社会貢献事業の一環として 各世代に投資教育の場を提供

現在、大学生の24%は起業に興味を示しているという。しかし、いざ会社を起こすとすると、知識の乏しい素人に立ち上がる社員の壁は高すぎる。こんな時のために、同社では、事業計画の立て方や資金の調達・運用方法、経営者に必要なマネジメント方法などを教育する「起業家育成スクール」も設立準備中だ。

また、「投資教育の場がない現代の子供たちには、学びの場を提供していきたいです。そして、『将来は起業家になりたい』という世代を作れたらと思います」と意欲的に語る後藤社長。

そして、2007年を迎えた現在、団塊世

代の一斉退職にも対応すべく「今後は投資を通じて、老後の潤いある生活、自立した人生を送る人たちも支援していきたい」と、確固たるビジョンも掲げている同社。

後藤社長は「まだまだ、うさんくさい印象のある投資ビジネスの世界ですが、当社を通じて、教育の大切さ、勉強の必要性を知っていただければ、うれしい限りです」と語る。大事なお金を減らすのではなく増やす。潤いのある人生の礎にするためには「頭で汗をかく習慣をつける」。これは、決して難しいことではないという。

「投資とは？」
この問いの答えが少しでも気になった方は、一度左記まで問い合わせてみてはいかがでしょうか。

「オレオーラ」と、ヤフー・グーグルで検索。同社のホームページが1番に掲載される。
URL <http://www.aureola.jp/>

オレオーラ株式会社

■本社
大阪校=大阪市淀川区西中島4-2-21
ミツフ新御堂筋ビル7F
TEL=0120-523-025
FAX=06-6390-3026
■東京校=東京都中央区日本橋2-8-11
旭洋ビル4F

☆著書のプレゼント!

後藤社長のベストセラー「卒サラ!株で6カ月で年収分を稼ぐ必勝法」を「THE21」読者の方に抽選で10名様にプレゼント。<http://www.aureola.jp/the21/>よりご応募ください。(締切 3月31日)

最後に、後藤社長に聞いてみた。

「昨年の株式投資利回りは？」
「昨年ですか。790%です」

その投資法は年々進化しているようである。